



住友ゴムグループは「顧客」「株主」「社員」など全てのステークホルダーにとっての価値増加一"Go for Value"一をコンセプトとし、「収益力」「開発力・技術力」「現場力」に一層磨きをかけ、持続的成長を目指します。

Go for Value

石油外資源タイヤ

住友ゴムグループは、地球温 暖化や石油資源の枯渇など環 境問題への取り組みの一環と して「エコタイヤ」の開発を強 化してきました。2006年3月に 発売したダンロップの 「ENASAVE(エナセーブ) ES801」は、天然ゴムの使用 比率を高めたほか、ゴム補強 材、オイル、タイヤ補強材にも 天然素材を採用し、石油外資 源比率を70%にまで引き上げ ました。当社従来商品に比べ て転がり抵抗を30%低減し、 燃費の向上にも貢献していま す。2008年には「97%石油外 資源タイヤ」の発売を目指して 開発中です。



生產設備面積比 約 3 0/0

タイヤの新工法「太陽」は、部材工程から検査工程までをコンパクトに一体化させ、自動化した最新生産方式。この工法の採用により、従来型の生産方式に比べ高速ユニフォミティを50%改善。タイヤの精度・性能の向上に寄与するとともに、従来設備に比べて面積比で約30%というコンパクト化を実現するなど、投資効率面の向上も可能にします。国内工場に順次導入を進めているほか、2006年11月より稼働を開始したタイ新工場では、この太陽工法の初の海外導入を行い、高効率かつ高品質なタイヤの生産を目指しています。また、「太陽」で製造したダンロップブランドの高性能タイヤ「SP SPORT MAXX(エスピースポーツマックス) A1 A/S」は、レクサスに新車装着されることが決定しています。

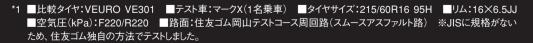


SP SPORT MAXX A1 A/S





ダンロップの「VEURO(ビューロ) VE302」は、タイヤ内面に搭載した「特殊吸音スポンジ」で、 路面の凸凹によって起こるタイヤ内部の空気の振動を抑制し、優れた静粛性を実現したプレ ミアムコンフォートタイヤ。お客さまに快適なドライビング空間を提供しています。「特殊吸音ス ポンジ」は、2006年に発売を開始した「LE MANS(ル・マン)LM703」で、世界で初めて*2採 用されたダンロップ独自のノイズレス技術です。



^{*2} タイヤの内側に非リング状の特殊なスポンジを装着し、ロードノイズを低減させた量産乗用車タイヤとして。2007年3月31日現 在、日本では特許No.3612059等、計3件、外国では特許No.6726289等、計6件取得済。また、日本を含む世界で合計 93件の特許を申請中。なお、1985年1月1日から2005年8月31日の間の特許文献、非特許技術文献、新聞・雑誌等の一 般的な情報の範囲において、公報の目視スクリーニング等で調査した結果、「世界初」と推定される。この調査は住友ゴムエ 業(株)が第三者の調査会社に委託して実施。





若手技術者を対象とした研修制度「技術検査制度」を、40年以上も継続して実施しています。3名の若手研究者と1名の現場技術者でチームを組み、4週間にわたり製造現場での改善活動に専念する「技術検査制度」では、住友ゴムのモノづくりの技術・哲学を体得するとともに、自らが問題を発見し、改善・解決策を考える「現場力」を実践で学んでいます。さらに、2007年より「製造研修センター」を立ち上げ、製造技能を次世代に伝承・育成していくシステムの確立を目指しています。

技術検査制度を

 国内の全6工場で、埋立廃棄物を全廃棄物量の0%にする「完全ゼロエミッション」を達成。さらに2006年11月には、住友ゴムグループの海外物を1%未満に抑える「ゼロエミッション」を達成しました。従業すー人ひとりの環境保全に対し、従業可と引き続き日々の環境保全に対り、今後も引き続き日々の環境に貢献していきます。

